

さくら ・ にゃん ・ にゃん
3.22
3月22日は「さくらねこの日」



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND
659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。

公益財団法人
どうぶつ基金
活動報告書

ANIMAL ACTION FUND ACTIVITY REPORT

2025 2025.4.1~
2026.3.31



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

目次

お礼とご報告	02
壱岐島TNR地域集中プロジェクト	03
宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト	07
多頭飼育救済	11
さくらねこTNR	13
全国の協力病院	14
三重県（出張手術）	15
助成金	16
奄美大島	17
ちきゅう部	18
メディア	19
写真・動画コンテスト	21
さくらねこ短歌コンテスト	23
寄付・遺贈	25
どうぶつ基金について	27
会計報告	29



お礼とご報告

「殺処分ゼロ」への確信

皆さまの温かいご支援に支えられ、2025年度も無事に活動を締めくくることができました。心より感謝申し上げます。

今年度、どうぶつ基金が最も大きな成果を上げ、日本の動物愛護史に刻むべき一歩となったのが、

長崎県壱岐島における全島TNRプロジェクトです。

どうぶつ基金はこれまで、全国で累計45万頭を超える無料不妊手術を行ってきました。この膨大なデータから、

私たちは確信をもって「野良猫の生息数は、その地域の人口の10～20%である」と推計しています。

人口約2万4,000人の壱岐島において、私たちはこの推計に基づき、約4,000頭規模の不妊手術を計画しました。

結果として、4,056頭への無料不妊手術を実施。これは島民人口の約16%に相当し、

まさに私たちの推計が正しかったことを証明する結果となりました。

今回のプロジェクトで特筆すべきは、島全体の猫の99%にTNR（不妊手術）を実施したこと です。

しかし、私たちはここで手を緩めることはありません。

どうぶつ基金が掲げるTNRの鉄則は、「すぐやる、全部やる、続ける」です。

99%まで到達しても、残りの1%を放置すれば、猫の驚異的な繁殖力によって数年後には元の状態に戻ってしまいます。

私たちは殺処分ゼロを確実なものにするため、最後の一頭まで徹底する決意です。

壱岐島での成功は、島全体の環境を改善し、猫と人が共生できる「殺処分ゼロ」の完成形を全国に示すモデルケースとなりました。

これらの成果は、決して私たちだけの力で成し遂げられるものではありません。

寄付者の皆さまをはじめ、現場で汗を流すボランティアの方々、そして行政の協力があって初めて実現したものです。

皆さまのご寄付が、4,056頭の命の輝きに変わり、壱岐島の未来を変えました。

本報告書では、この1年間の挑戦の記録を詳しくお伝えいたします。

殺処分という悲劇を終わらせるための私たちの歩みは、これからも止まることはありません。

引き続き、皆さまの力強いご支援を心よりお願い申し上げます。

2026年3月
公益財団法人 どうぶつ基金 理事長

佐上邦久



さくらねこTNRで殺処分ゼロ！

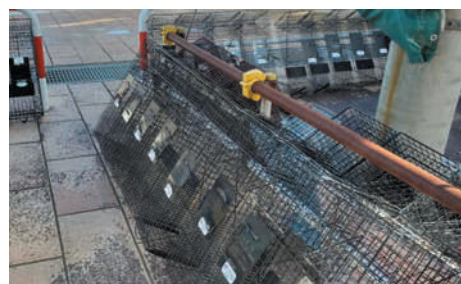


4,056頭の猫が「さくらねこ」に！ 官民がタッグを組んだプロジェクト 『壱岐島モデル』全国へ広がれ！



壱岐市とともに 走り切った活動の軌跡

壱岐島は長崎県に属する離島で、九州本土から約70kmの玄界灘に浮かぶ島です。TNRを行うには本土の動物病院まで猫を運ぶ必要があることから、TNRが野良猫の繁殖スピードに追いつかず、さらに、高齢者の多頭飼育崩壊も多発していました。



そのような状況を危惧した壱岐市からSOSを受け、どうぶつ基金は2024年9月に4日にわたる一斉TNRを行いました。その後、壱岐市と協議のうえ、新たに『イキイキさくらねこTNR地域集中プロジェクト』（壱岐島TNR地域集中プロジェクト）を2024年12月から2025年3月まで実施。終了時点の野良猫の生息状況からさらに1年間延長し、2026年3月、16カ月に渡る長期プロジェクトを終了しました。壱岐市では、TNRによって野良猫関係の苦情が大幅に減少したという、目に見える成果が現れています。

壱岐市の全面協力によって実現した官民協力体制

官民一体の取り組みとして注目された今回のプロジェクトにおいて、会場設営や運営、費用負担を含む人材支援（シルバー人材や地元団体の活用）、捕獲や運搬への公用車使用など、壱岐市からは多大なご協力をいただきました。壱岐市職員の皆さま、ありがとうございました！



プロジェクトを支えた地元ボランティア団体の存在

今回のプロジェクトは、地元ボランティア団体「壱岐島わんにゃんお守り隊299」（代表：松嶋純子氏）なくして完遂はできませんでした。「壱岐島わんにゃんお守り隊299」の活動はTNR（捕獲、運搬、リターン）にとどまらず、島民の見学対応やスペイカー（移動手術車）スケッチ大会のほか、高校生ボランティアを受け入れるなど、命の尊さとTNRの重要性を若い世代へ伝える取り組みも行っていました。



飼い主のいない猫の問題解決に地域を支える若い世代が積極的に関わってくれたことは、壱岐市における動物と人との幸せな共存が未来に受け継がれる大切な一歩となりました。



voice

奮闘の先にあった幸せ。これからも島にさくらねこの花を咲かせ続けたい

壱岐島わんにゃんお守り隊299 代表 松嶋 純子様

「島にはどのくらいの猫がいると思いますか？」と理事長に聞かれた時に「3,000頭以上はいると思います」とお答えしたことが昨日のようです。期間中は「予定頭数捕獲できるか？」「天気はどうか？」などいろいろな不安との戦いでした。でも、さくらねこになった猫ちゃんの姿、そして何より依頼者の方の安心した笑顔に私たちが幸せをいただきました。全国の支援者の皆さまに心より感謝申し上げます。島にさくらねこの花が咲き続けるように、これからも頑張っていきます。

「どうぶつ基金病院壱岐島」手術実績



どうぶつ基金病院壱岐島では、「宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト」でもご協力いただいた長井和樹獣医師が院長を務めました。TNRを迅速に進めるには、常に猫ファーストで安心安全な手術を行ってくれる獣医師の存在が欠かせません。壱岐島で4,000頭を超える「さくらねこ」が誕生したのは長井獣医師のおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます。

壱岐市から感謝状。壱岐島とともに歩んだ証



2026年3月19日の閉院式において、壱岐市長・篠原一生氏よりどうぶつ基金へ感謝状が贈呈されました。閉院式には行政・ボランティア・獣医師などプロジェクト関係者が集い、壱岐市との約2年間の協働に区切りをつけました。行政・ボランティア・どうぶつ基金が一体となって歩んだこのプロジェクトへの、地域からの温かい評価として、大切に受け取りました。

2025年4月～2026年3月の手術実績
 (頭)

	オス	メス(うち妊娠)	耳カットのみ	計
2025年4月	88	112(33)	0	200
2025年5月	107	151(36)	0	258
2025年6月	93	146(30)	0	239
2025年7月	154	190(32)	1	345
2025年8月	144	202(29)	0	346
2025年9月	167	221(8)	0	388
2025年10月	154	201(0)	0	355
2025年11月	141	224(2)	1	366
2025年12月	171	197(0)	0	368
2026年1月	110	121(5)	0	231
2026年2月	93	85(10)	0	178
2026年3月	32	52(28)	0	84
	1454	1902(213)	2	3358



これまでの手術実績

無料不妊手術 チケットによるもの	2022年度 2023年度 2024年度	11頭 7頭 41頭
第1回 地域集中プロジェクト	2024年9月26日～29日(4日間)	119頭
第2回 地域集中プロジェクト	2024年12月～2025年3月(4ヶ月間) 2025年4月～2026年3月(12ヶ月間)	520頭 3358頭
累計		4056頭





voice

官民連携で歩む「共存の道」。4,000頭の命を、島の大切な宝に
 壱岐市長 篠原一生 様

どうぶつ基金様、獣医師様ならびに地元ボランティアの皆さまのご協力により、「日本最古のイエネコの島“壱岐”」において、これまでに約4,000頭のさくらねこを誕生させることができましたことを、深く感謝申し上げます。「ヒトとネコが共存する理想郷」として活動を継続していくとともに、長崎県が掲げる「動物殺処分ゼロ」の実現に向けて、行政、愛護団体、市民が一体となって、今後も取り組んでまいります。

官民協働モデルの完成。壱岐から全国へ

今回のプロジェクトは、猫の問題解決を通じて、人と人のつながりを再構築する取り組みとなりました。壱岐市職員、地元ボランティア団体、そして島民が力を合わせ、4,056頭というかつてない規模のTNRが実現しました。特に離島という閉じたコミュニティにおいては、住民の暮らしに寄り添い、福祉の観点からも包括的な状況把握ができる「行政」だからこそ果たせる役割があります。ここで生まれた「連携の輪」を絶やすことなく、官民が手を取り合った温かい見守りが続くことを願っています。壱岐市から全国へ!この取り組みが全国へと広がり、より多くの地域で猫と人が共に幸せに暮らせる社会を築いていけるよう、これからも活動を続けてまいります。



773頭の猫が「さくらねこ」に! 「世代を越え、垣根を越え、未来を変える。」 宮崎県山間部3町の官民協働TNRが、完遂。



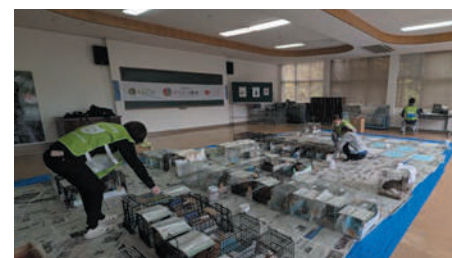
過疎・高齢化が進む中山間地域で、人と猫の共生へ、大きな一歩

宮崎県西臼杵郡の高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町は、九州山地の中央部に位置する中山間地域です。近隣にスベイクリニックがなく、高齢化により捕獲・運搬も困難な状況が続いていました。2024年の生息調査で3町合計509頭の未手術猫が確認されたことを受け、3町・宮崎県・どうぶつ基金が一体となった「さくらねこTNR地域集中プロジェクト」を実施。当初の想定を大きく上回る773頭の不妊手術を完了し、2025年11月にプロジェクトを無事終了しました。



行政の垣根を越えた、3町広域連携

高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町は、それぞれ独立した自治体でありながら、今回のプロジェクトでは「西臼杵郡」という地域のつながりを活かし、前例のない広域連携を実現しました。



他町の実施日にも職員が会場に駆けつけ、人手不足を補うバックアップ体制が3町の間で自然と生まれました。退職した元担当職員が捕獲器の洗浄作業に自ら名乗り出る場面もあり、現職・OBの垣根すら越えた献身的な協力がプロジェクトを支えました。担当課の枠を越え、休日返上で参加した職員たち。その姿は、地域の課題に真正面から向き合った官民協働の象徴となり、3町が一つになって完遂したプロジェクトとなりました。



voice

急増する相談への確かな一手。3町連携で繋いだ773頭の命 日之影町 町民福祉課 住民生活係 木田 裕章 様

本町では令和6年度から、猫に関する相談件数が急増しておりました。今後どう対応していくべきか検討している中、どうぶつ基金の方々や県、西臼杵3町で協議し、今回のプロジェクトを実施することになりました。8ヶ月のプロジェクト期間中、本町のみでも216頭、西臼杵3町の総数で773頭の猫に不妊手術を実施することができました。協力していただいた方々にあらめてお礼申し上げます。プロジェクトは終了しましたが、現在もどうぶつ基金の協力病院で不妊手術事業は継続させていただいております。今後ともよろしくお願いいたします。



宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト

高校生も参加。次世代へつなぐ命の教育

今回のプロジェクトには、地域の高校生がボランティアとして参加しました。術前・術後の管理や会場の設営など、現場のあらゆる場面で若い力が活躍しました。山間部という地理的な近さが強みとなり、高校生が自然に活動へ加わることができたのも、この地域ならではのことで。猫の命と向き合い、地域の大人たちと肩を並べて働いた経験は、命の尊さを体で学ぶ教育の場となりました。ここで芽生えた意識と経験が、やがて地域を支える力へと育っていくことを確信しています。



移動手術車が、山間部の壁を越えた

西臼杵郡には、近隣に不妊手術を専門とするスペイクリニックが存在しません。遠方への搬送が困難な高齢者が多い中、猫の繁殖の連鎖を断ち切ることができない状況が長年続いていました。その壁を越えたのが、移動手術車です。獣医療機器を備えた車両が直接現地へ乗り入れることで、毛刈りから手術まで獣医師が車内で完結。1日40～50頭を少人数で効率的に実施できました。



数字が語る、完遂への軌跡

プロジェクトデータ概要		手術数					
手術数	773頭	予定頭数：100頭/月 計400～500頭					
実施回数	6回	対象：行政が必要と認めた猫					
実施期間	8ヶ月						(頭)
実施地域	高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町(広域連携)						
3町別 手術頭数		オス	メス	メス(妊娠)	耳カットのみ	計	
高千穂町	257頭	58	40	25	0	123	
五ヶ瀬町	246頭	58	58	14	0	123	
日之影町	270頭	56	52	18	0	126	
		60	77	7	0	144	
		61	65	3	0	129	
		60	67	0	1	128	
		合計	353	352	67	1	773



2025年4月から11月にかけて、高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町の3町で計6回のTNRを実施しました。当初の想定頭数は400～500頭でしたが、住民からの反響と追加実施の声を受け、9月・11月にも実施を重ねた結果、最終的な手術数は773頭に達しました。妊娠していたメス猫も多く、プロジェクト全体での墮胎数は183頭にのぼりました。のべ136人のボランティアと82人の行政職員が支えたこのプロジェクトは、数字だけでなく、地域の人々の熱意と連携によって完遂されました。



voice

山間部に芽吹いた「共生」の兆し。皆さまの支えで完遂した集中対策
どうぶつ基金 プロジェクトリーダー 山本 清美

この度、どうぶつ基金と西臼杵3町の協働による「宮崎県山間部TNR地域集中プロジェクト」に、プロジェクトリーダーとして参画できたことを大変光栄に感じております。本事業を通じてさくらねことなった猫たち、そして彼らを見守る地域の皆さまが、今後も穏やかに共生できる環境が維持されることを願ってやみません。実施にあたり多大なるご協力をいただいた皆さま、ならびに活動を支援して下さいいる寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

3町から感謝状。地域とともに歩んだ証として。

2025年11月13日の閉院式において、高千穂町・五ヶ瀬町・日之影町の3町それぞれより感謝状を拝受しました。行政・住民・どうぶつ基金が一体となって歩んだこのプロジェクトへの、地域からの温かい評価として、大切に受け取りました。



さくらねこTNRは、手術をして終わりではありません。
術後の「見守り」を継続してこそ、本当の成功が見えてきます。

今回のプロジェクトは、猫の問題解決を通じて、人と人のつながりを再構築する取り組みとなりました。行政職員、地域ボランティア、そして高校生まで、世代と立場を越えた人々が力を合わせ、773頭というかつてない規模のTNRを完遂しました。特に高齢化が進む地域においては、住民の暮らしに寄り添い、福祉の観点からも包括的な状況把握ができる「行政」だからこそ果たせる役割があります。ここで生まれた「連携の輪」を絶やすことなく、地域と行政が手を取り合った温かい見守りが続くことを願っています。





ヒトも動物も救う、それがどうぶつ基金の多頭飼育救済。

想像してみてください。清潔な水も満足な食事もなく、ただ命を繋ぐことさえ過酷な環境を。多頭飼育崩壊の現場にいる動物たちは、そんな地獄のような環境の中で生きています。その絶望を断ち切る唯一の方法、それが全頭への不妊手術です。繁殖を止めることは、単なる医療措置ではありません。それは、彼らに「明日」を届ける贈り物であり、同時に、追い詰められた飼い主が前を向くための「時間」を創り出す、再生への第一歩となります。ヒトも動物も、どちらも取り残さない、それが、どうぶつ基金の多頭飼育救済です。多くの方に支えられたこの支援が、今日もどこかで新しい幸せへの一歩を生み出しています。



2025年度、どうぶつ基金が実施した多頭飼育救済支援は75件でした。平均すると1カ月に6件もの支援を行ったこととなりますが、この75件は氷山の一角です。逃げ出すこともできず、空腹や苦痛に耐える日々を過ごす犬や猫たちは全国に数えきれないほどいます。

多頭飼育崩壊は貧困や心の病が一因であることも多く、動物福祉だけではなくアプローチが必要です。解決するには行政の関与が必要不可欠であり、官民協働でこの大きな社会問題に取り組んでいかなければなりません。

環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン ～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」



行政の声

鹿児島県霧島市

市による早期介入及び継続的支援体制の整備が重要であると考えます。具体的には、不妊手術に係る支援制度の充実、相談窓口の周知及び動物愛護関係機関との連携強化を図り、飼育困難が深刻化する前段階での把握や支援につなげる必要があります。

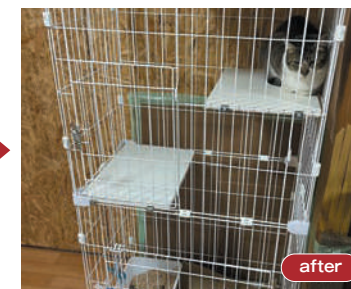
茨城県つくば市

福祉的ケアが必要な方が多頭飼育崩壊を引き起こすことが多いと考えられるため、市役所内で福祉部門と環境部門が協力体制をとることが有効と考えます。

沖縄県うるま市の対応事例



多頭飼育救済において、不妊手術後の飼育環境改善にどのように関わっていくか、それがどうぶつ基金の課題でもあります。今後の支援のあり方を模索するため、テストケースとして飼育環境が劣悪であった事例を1件選び、飼育環境の改善に必要な物資提供を行いました。この結果を踏まえて、今後どのように支援を充実させていくか検討していきます。



不妊手術後の飼育環境改善により深く関わるテストケースとして、3段ケージや必要な備品を支援。狭く汚れたケージはすべて撤去され、支援前から室外で自由に暮らしていた6頭を除いて室内飼育となった（他の猫との関係でフリーが難しい子は3段ケージ）。ボランティア団体や地域住民の協力もあり、支援後の敷地や室内は清潔な状態が保たれている。



高さのない狭いケージに閉じ込められた状態での飼育。ケージ内は清掃されておらず、器等の汚れも激しく藻が生えるなどしており、このような劣悪な環境のなかに長期間にわたって飼育されていた。

うるま市多頭飼育救済レポート



多頭飼育救済支援事例

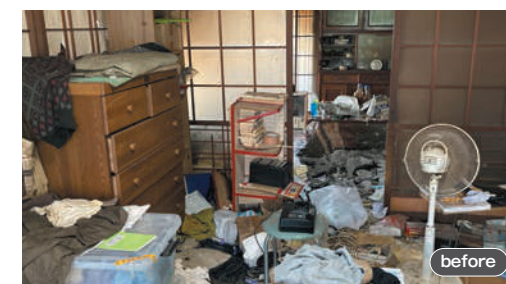
群馬県桐生市



埼玉県さいたま市



鹿児島県南九州市



どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術

2025年度は**53,643**頭の
さくらねこ無料不妊手術を行いました。

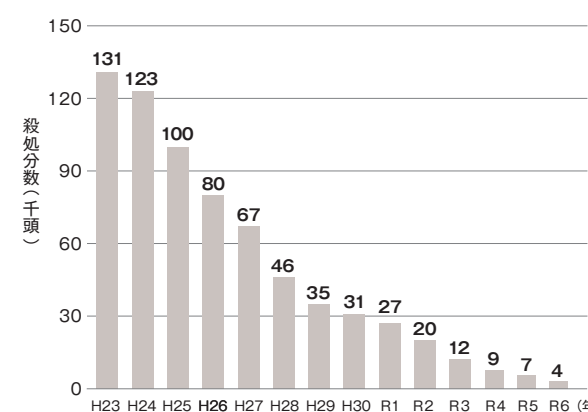


2024年度、猫の殺処分数は全国で4,866頭でした。保健所やセンターに持ち込まれた所有者不明猫のうち81%が生まれて間もない幼齢猫でした。生まれてスグに殺される。そんな悲劇は、不妊手術さえしていれば起きなかったのです。どうぶつ基金では、不妊手術が殺処分ゼロへの最も有効な手段と考えています。

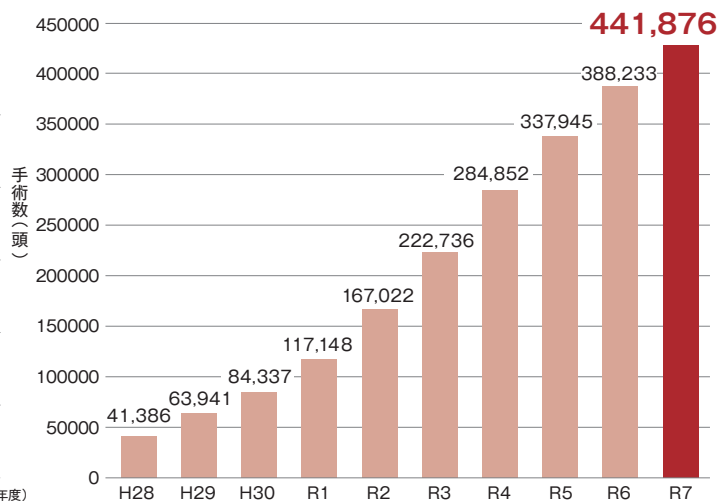
※実施頭数は2026年4月30日時点の集計による

登録行政数 **589**件 一般枠協働ボランティア(のべ) **8,714**人 協力病院数 **221**病院
出張手術実績 実施地域：名古屋市、西臼杵郡、三重県 手術頭数累計：累計 **6,352**頭

全国の猫の殺処分数の推移
環境省HPより令和7年度 環境省調べ



どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。

さくらねこTNR(TNR先行型地域猫活動)

「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

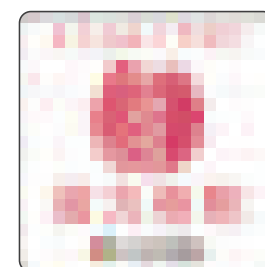
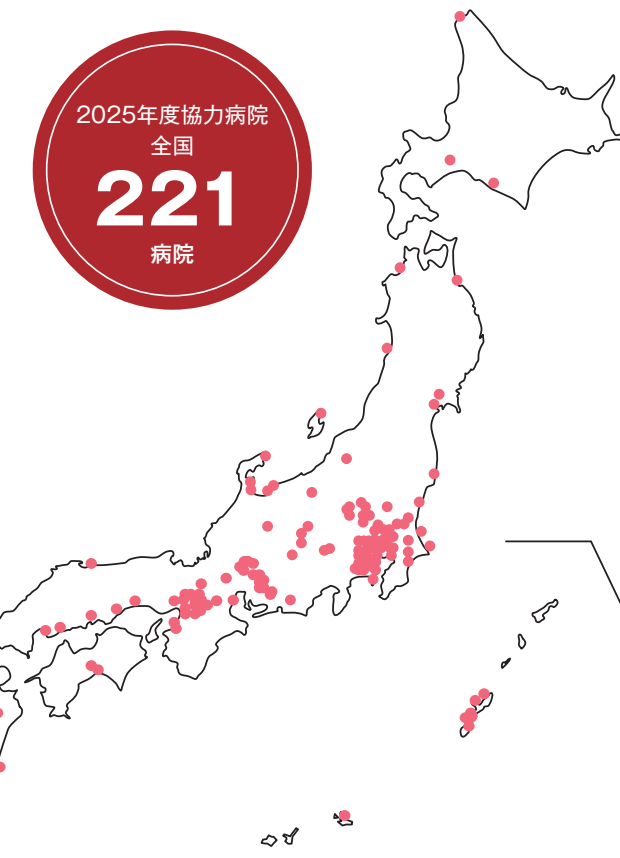


TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術をしてさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNRの実績豊富な獣医師や専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

全国の協働ボランティアと協力病院

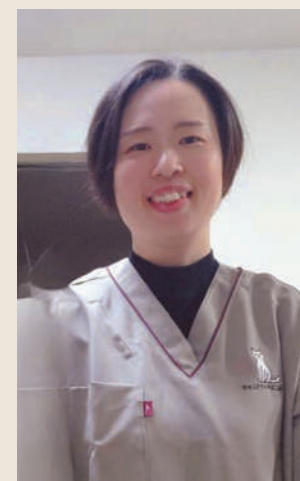
これまでに**441,876**頭の
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、これまでに441,876頭のさくらねこが協力病院でうまれました。



ステッカーが目印です!

かわいい「さくらねこマーク」で
協力病院だと一目でわかると、評判です。



voice

医療で繋ぐ「救いたい」の想い。寄付者と現場の橋渡しを担う喜び

しろねこスベイクリニック 中尾和未 先生

昨年8月より福岡県で協力病院として活動しています。当院のある福岡県南部では自然豊かでのどかな町に、たくさんの猫と、猫に優しい方々が暮らしています。ボランティアさんたちは、日々TNRに啓発活動、子猫の譲渡と奮闘していますが、猫の繁殖力になかなか追いつけないのが現状です。人手も足りませんが、資金もなかなか…。そんなときに、どうぶつ基金さんのチケットのおかげで医療を受けることができた猫たちがたくさんいます。全国の猫を愛する人々からの寄付で成り立つこの制度は、「お外で暮らす猫が1頭でも減ってほしい」という同じ思いを持つ人たちからボランティアさんへのエールです。私は協力病院として、その橋渡しができることをとても嬉しく思っています。

官民一体となって殺処分ゼロを目指す、それが「三重県モデル」

どうぶつ基金では、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫による糞尿被害等の問題の解決に向け、「さくらねこTNR」（TNR先行型地域猫活動）に取り組んでいる三重県と連携し、2014年度から飼い主のいない猫の無料不妊手術等を行っています。また、どうぶつ基金では行政獣医に不妊手術の技術指導を行っています。行政獣医の技術の向上によって、より安全確実な手術が行われるようになりました。

これまでに**3,270頭**のさくらねこがうまれました（2017～2025年度の累計）

本事業の実績	2025年度（全1回）	110頭 （オス52頭、メス56頭、メス（妊娠）0頭、耳カット等のみ2頭）
	2024年度（全1回）	122頭 （オス55頭、メス67頭、メス（妊娠）0頭、耳カット等のみ0頭）
	2023年度（全1回）	109頭 （オス50頭、メス58頭、メス（妊娠）1頭、耳カット等のみ0頭）
	2022年度（全1回）	181頭 （オス84頭、メス95頭、メス（妊娠）2頭、耳カット等のみ0頭）
	2021年度（全2回）	349頭 （オス162頭、メス181頭、メス（妊娠）4頭、耳カット等のみ2頭）

※どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、2017年9月に「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結しました。

2014年にスタートした協働事業は、今年で12年目を迎えました。

問題を解決するには何よりも不妊手術の先行が必要であるということから、三重県はTNR先行型地域猫活動にシフトチェンジを行い、行政とどうぶつ基金の事業は「三重県モデル」という先進の協働となり、継続して実施されています。行政獣医に不妊手術の技術指導を行うことによって行政獣医の技術力が向上し、短時間で安全な手術ができるようになります。三重県とどうぶつ基金はさくらねこTNRのトップランナーとして、これからも官民一体となって殺処分ゼロを目指します。

どうぶつ基金と行政との協働事業について	一般的な「行政との協働事業」は行政主導の税金事業が主ですが、どうぶつ基金の場合は、税金を使わず、皆様から寄せられた大切なご寄付のみで実行しています。そのため、知恵を絞って徹底した効率化を図り「究極のコスト削減」と「最大の成果」を追求しています。
---------------------	--



殺処分されるはずだった命に、もう一度チャンスを

犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

714頭 × 7,000円 = 4,998,000円

「里親さがし助成金」は、保健所等から犬や猫を引き取り、譲渡活動を行う団体や個人活動家の方へ、1頭に付き7,000円を支援する制度です。行政と民間が連携し、手を取り合うことで救える命があります。



団体等譲渡制度とは？

保健所などの行政施設に収容された犬や猫を、認定を受けた団体・個人が引き取り、新たな飼い主に譲渡する制度です。登録を行えば、誰でも行政とともに命を救う担い手になることができます。小さな命にとって、行政とボランティアが協力してくれるということは、「もう一度、家族を持てるかもしれない」という希望そのものなのです。

2025年度 助成実績

再譲渡頭数: **714頭**
 助成単価: **7,000円/頭**
 助成総額: **4,998,000円**



voice

一頭も取り残さない決意。皆さまの支援で結ばれる「新しい家族との縁」

縁-en- 荻田 真由美 様

私たち動物愛護団体 縁-en-は、幼齢の犬猫や殺処分対象の負傷犬猫や老犬猫など、行政だけでは対応しきれない収容動物を主に引き出し、譲渡や看取りとして命を繋ぐ活動をしています。たくさんの保護犬猫を抱えているため高額な活動費用を要しますが、皆さまからの温かいご支援からなるどうぶつ基金様の助成金をいただき、適正な治療や飼育ができています。今後も『小さな命が軽んじられない社会』を目指し、一過性の救済に留まらない、根本的な問題解決に向けた啓発にも力を入れ、一つ一つの命が新しい家族と【縁】を結べるよう真摯な活動を続けていきたいと思っています。

数字のトリック、猫の犠牲。奄美大島 守るべき固有種までもが「罠」の犠牲になる本末転倒



どうぶつ基金は、環境省の「ノネコ管理計画」の欺瞞を明らかにし、その即刻中止を訴えています。問題は、猫の命が奪われていることではありません。希少種を守るはずの計画の中で、奄美の固有種までもが罠の犠牲になっているのです。

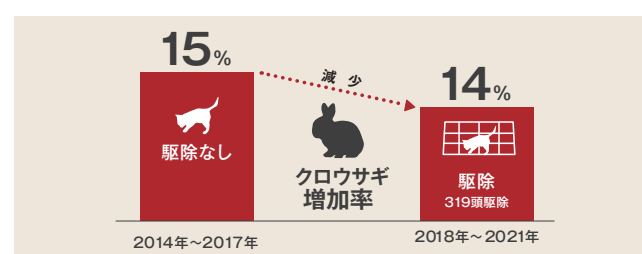
❌ 罠は命を選ばない

ノネコ捕獲のために設置された罠には、本来守るべき希少な固有種がかかり、負傷や死に至る例が後を絶ちません。生態系を守るための計画が、その生態系の主役を傷つけている。これが今の奄美の現実です。

❌ 環境省の「グラフのマジック」

効果が乏しい事業が、なぜ成功のように見せられるのか。それは、環境省が「増加率」ではなく「生息頭数」の推移を強調しているからです。分母が大きくなれば、同じ増加率でも増加数は大きく見えます。この数字のトリックによって、あたかも駆除が成功したかのような印象が作られているのです。

❌ データが示す「駆除の無意味さ」



奄美大島におけるクロウサギ個体数の推移について、環境省が公表したデータを基に増加率を算出したところ、ノネコ駆除が実施されていなかった 2014 年から 2017 年の平均増加率は 15%、一方で 319 頭のノネコ駆除が行われた 2018 年から 2021 年の平均増加率は 14% であり、両期間に統計的な差は認められませんでした。このことは、ノネコ駆除の有無がクロウサギの増加率に影響を与えていないことを示しており、両者の間に相関性は見いだせません。

私たちの決意

科学を歪め、罠で命を弄ぶ計画を、これ以上放置することはできません。

分析の結果、ノネコ駆除がクロウサギ保護に役立っている科学的根拠は見当たりませんでした。

あるのは、数字の操作と、無差別な罠による猫と固有種の犠牲だけです。

どうぶつ基金は、この不条理な「ノネコ管理計画」の即刻中止を、これからも強く求め続けます。



「いきものが自由でしあわせ」、どうぶつ基金が目指す世界です。動物もひと、同じいきものです。自分たち人間の福祉(しあわせ)を考えるように、動物の福祉も大切です。世界の現場は見ると聞くとでは大違い!世界各地で野生動物の保護、虐待された家畜の保護などさまざまないきものを守る取り組みが行われています。どうぶつ基金ちきゅう部では南極、アマゾン、アフリカ、ポルネオなど世界の活動現場にとび、その実態を皆様にお届けします。

サイの角が語る現実 迷信で奪われる命

南アフリカのクルーガー国立公園で、一頭のミナミシロサイに出会いました。その姿に、私は言葉を失いました。あるはずの立派な角がなかったのです。折れたのではありません。野生動物レンジャーの手で、根元から切り落とされていました。なぜ、守るはずの人がそんなことをするのか。それは、サイの角が闇市場で高値で取引されるからです。背景にあるのは、「癌に効く」といった迷信や富の象徴としての需要。しかし角の主成分は、人間の爪や髪と同じケラチンであり、科学的に薬効は認められていません。

それでも命は狙われ続ける。だからこそレンジャーは、密猟で殺される前に、角を切るという苦渋の選択を迫られています。「角のない姿で生き延びるしかない」という、あまりに残酷な現実です。これは遠い国だけの問題ではありません。日本国内でも、通販サイトやオークションでサイの角が流通しています。市場がある限り、違法なものが紛れ込むことを完全に防ぐことはできません。私たちの社会もまた、知らぬ間に命の犠牲の上に成り立つ消費の一部になっているかもしれません。



どうぶつ基金は、この現実から目を背けず、問い続けます。

「いきものが自由でしあわせ」とは、どういうことなのか。

2025年度 メディア掲載・放映一覧 (2026年3月31日 現在)



掲載数 | 4回 新聞掲載

2025/4/19	宮崎日日新聞	西臼杵3町と兵庫の団体 無料で不妊手術実施
2025/4/25	夕刊デیلیー	飼い主のいない猫 殺処分ゼロへ
2025/5/2	壱岐新報	芦辺町にどうぶつ基金病院開設
2025/5/3	長崎新聞	どうぶつ基金病院壱岐島が開院 無料で猫の不妊手術 1年限定で空き施設活用

掲載数 | 5回 WEBニュース

2025/4/23	Yahoo!ニュース(mrt宮崎放送)	殺処分ゼロを目指して 野良猫など不妊手術を行い戻す「TNR活動」西臼杵郡3町で始める
2025/4/24	NHK宮崎NEWS WEB	西臼杵郡 中山間地で野良猫繁殖 獣医師が出向いて不妊手術
2025/5/22	Yahoo!ニュース(宮崎ニュースUMK)	繁殖力の高いネコ 獣医師が山間部を巡回して不妊手術
2025/5/26	YouTube (BTVチャンネル【公式】)	【西諸】地域と猫をつなぐ新たな場所
2026/3/26	NHK宮崎NEWS WEB	「地域猫活動」で宮崎県が感謝状 年間2000匹不妊手術

放映数 | 3回 テレビ

2025/4/24	NHK宮崎NEWS	西臼杵郡 中山間地域で野良猫繁殖 獣医師が出向いて不妊手術
2025/5/22	UMKテレビ宮崎B	繁殖力の高いネコ 獣医師が山間部を巡回して不妊手術
2026/3/26	NHK宮崎NEWS	「地域猫活動」で宮崎県が感謝状 年間2000匹不妊手術

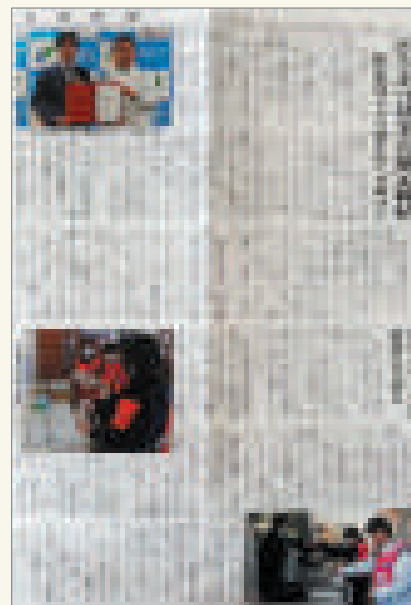
掲載数 | 467回 ウェブニュース掲載

一覧が(一部)ご覧になれます。

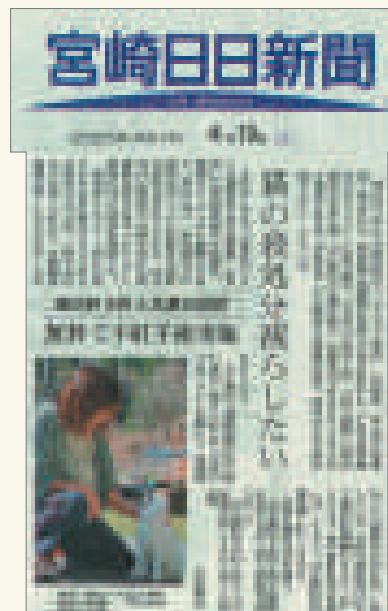


掲載数 | 17回 PR TIMES掲載

一覧がご覧になれます。



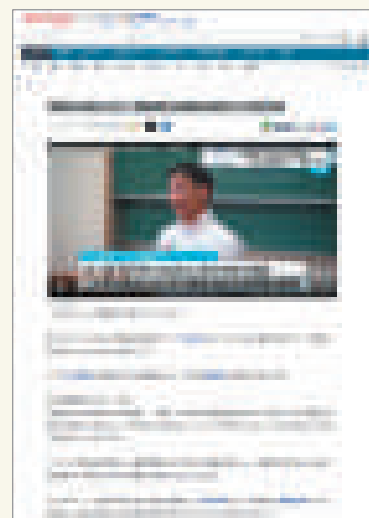
2025/5/2 壱岐新聞



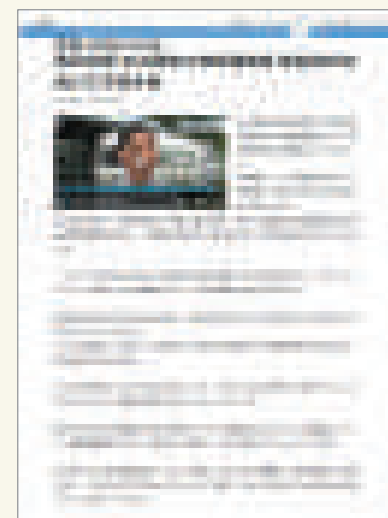
2025/4/19 宮崎日日新聞



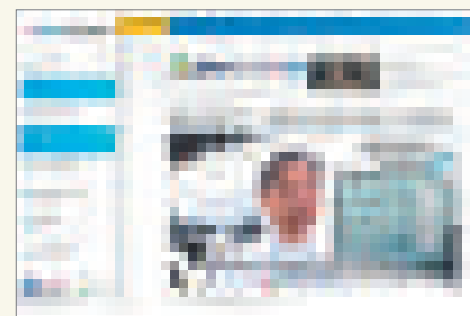
2025/5/3 長崎新聞



2025/5/22 Yahoo!ニュース(宮崎ニュースUMK)



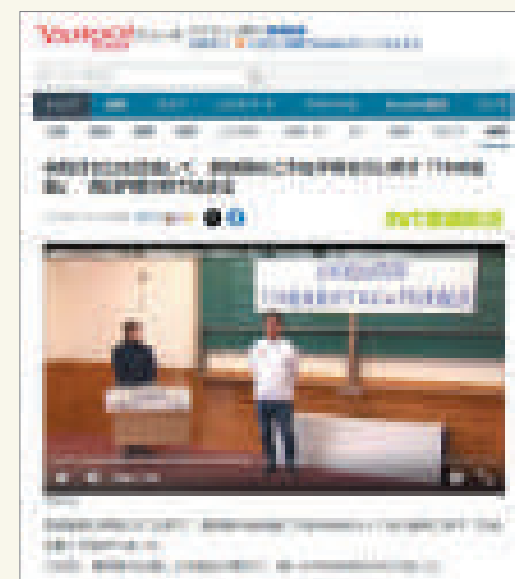
2026/3/26 NHK宮崎NEWS WEB



2025/5/22 UMKテレビ宮崎B



2026/3/26 NHK宮崎NEWS 宮崎県内におけるどうぶつ基金の活動に対し、宮崎県から感謝状贈呈



2025/5/26 YouTube (BTVチャンネル【公式】)

買わずに飼ってね！

いのちつないだ♡ワンニャン写真・動画コンテスト

いきものが自由でしあわせ。

すべての犬猫が幸せに暮らせる世界を願って始まったこのコンテストも、今年で16回目を迎えました。幸せを掴んだ彼らの姿は、消えかけていた命の尊さと、その命とともに生きるかけがえのない喜びを私たちに教えてくれます。「里親になること」や「地域猫を見守ること」。命を「買う」のではなく「飼う」という選択肢があることを一人でも多くの方に届けたい。私たちは、その一歩が次の幸せへ繋がると信じています。最後の1頭が温かな居場所を見つけるその日まで、私たちは走り続けます。



環境大臣賞
百獣の王のような立ち姿

2024年9月に漁港にやってきた新入り猫のまーくん。出会った時からとても人懐っこくて、私が行くところどこまでもついてきます。港の灯台まで一緒にお散歩して撮影していると、まるでライオンのようなカッコいいポーズをとってくれました。10月末にはいなくなりましたが、綺麗な風景を見るたびに、ここにまーくんがいればなあ…と思い、寂しくなってしまうです。



voice

8年の歳月を経て届いた想い。猫たちが教えてくれた「生きる力」
芝田 圭佑 さん

私が初めて当コンテストに応募したのは2018年、それから8年間応募し続けて、ようやく念願だった環境大臣賞を頂戴しました。この8年間に延べ20頭以上いた撮影地の猫たちは10頭になりました。行方不明になった子や天寿を全うした子…さまざまな理由はありますが、遠い所から来られて日々お世話をされている方々のおかげで、野良猫の平均寿命を遥かに超えて生きることができた猫たちの一生は幸せなものだったと信じています。震災をも乗り越えたパワフルな猫たちに元気をもらって、これからも撮影を続けてまいります。

応募総数

1,405点



Judge's comment



さくらねこが暮らす街の風景に、命のつながりを実感する

街中を歩いていると、さまざまな地域で「さくらねこ」を見かけることが増えました。その姿をみていると、どうぶつ基金の長い活動の成果とともに、少しずつ猫たちの命が繋がっていることを実感し、自然に僕の心にも感謝の気持ちが湧いてきます。今後もさらに活動の輪を広げながら、少しでも多くの猫ちゃんの命を守れたらと思っています。

■審査委員長 GLAMOROUS co.,ltd. 代表 森田 恭通

Photo by Emma Amber



シャッターが切り取った愛と幸せ。命を慈しむ心が繋がる瞬間

今年の作品は、一瞬のシャッターチャンスを見事に捉えた作品が多く、印象的でした。ワンコ部門では、散歩中の嬉しそうな笑顔に、こちらまで心が和みました。ニャンコ部門では、何気ない日常のひとコマをやさしく見つめる飼い主さんの愛情が伝わってきました。さくらねこ部門では、四季折々の風景を活かした絵作りが素晴らしかったです。動物たちの幸せな姿は、人の心までも幸せにしてくれるのだと改めて感じました。

■特別審査委員 ハニハジメプロダクツ ハニ一



撮影技術の高まりを実感、
愛情あふれる「家族の記録」に感謝

皆さまの大切な家族を撮る技術が年々上がっていて、どの子も「魅力増しまし」で見えてとても癒されました。愛に溢れた幸せな時間をありがとうございます！

■特別審査委員 JUNICHI



例年を超える感動。受賞作が放つ、
力強く美しい命の輝き

猫さんも犬さんも、受賞された写真はどれも力強く美しい写真ばかりでした。毎年素晴らしい作品ですが、それにもまして今年作品は素晴らしい写真ばかりでした。

■特別審査委員 ペペ島田



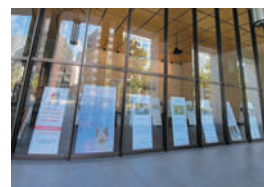
猫も犬も愛おしい幸せな審査時間。心に響く「かわいい」の力

いのちつないだワンニャン写真動画コンテストにたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございます。猫しか撮影できない写真家なので、わんちゃんの写真を審査する難しさを感じましたが、皆さまの力作のおかげで「かわいいなー」と楽しんで選ぶことができました。感謝しております。

■特別審査委員 沖 昌之

写真展が全国で行われました。

大阪府摂津市
摂津市立コミュニティプラザ



長崎県大村市
大村市コミュニティセンター



作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか？どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。どうぶつ基金ウェブサイトよりお申し込みください。



啓発素材のフリー提供

どうぶつ基金では、フライヤーやポスター等、活動・啓発資料を無料提供しています。

フライヤー・ポスター等
提供はこちら。



絵本がeBookで
ご覧になれます。



さくらねこ絵本が大好評



さくらねこへ贈る言葉の花束。 三十一文字に想いをこめて

親子や友人、時には恋のライバルとして。さくらねこ紡ぐ物語は、百人いれば百通りあります。街角で懸命に命を繋ぐ彼らへ贈られた「三十一文字の花束」には、あふれんばかりの愛とリスペクトが宿っていました。一首一首に灯った優しい祈りが、さくらねこの明日を温かく照らし続けることを願っています。

第3回

さくらねこ
短歌コンテスト

のこを考える1カ月

応募総数
2,073
首

優秀賞受賞作品は
こちらから
ご確認ください

大賞

さくらねこ 耳のしるしを 撫でるたび
わたしの傷も 少し笑える

現代は誰しもがちょっとずつ傷ついている時代。
「少し笑える」が秀逸

渡邊 幸博 様

山崎好裕 賞

さくらねこ 古いラジオが 流すのは
誰も愛さぬ 完璧な曲

「誰も愛さぬ完璧な曲」と欠いているところが
あるゆえに愛されるさくらねこ

平久 保好一 様

佐竹茉莉子 賞

さくらねこ 新たな家に 迎えられ
日向でくねくね 窓越しに見え

家猫になったなじみの猫との窓越しの再会。
「日向でくねくね」に祝福があふれている

池田 邦江 様

佐藤修史 賞

春の朝 ごはんの音に さくらねこ
草の向こうに 先ず耳ひとつ

喜んで近づいてくる猫の「草の向こうに先ず耳ひとつ」の
情景描写がうまい

吉田 健 様

理事長賞

店先に 正座して居る さくらねこ
十時開店 おまちください

地域に溶け込み、礼儀正しく開店を待つ「さくらねこ」。
街の人との温かな共生の姿が、凜とした正座に宿ります。

戸田 禮子 様

voice

さくら耳が癒やしてくれた心。猫の幸せを願い、詠み継ぐ想い

大賞受賞者 渡邊 幸博 様

数年前、散歩をしていたとき、危害を加えられて耳をけがした猫だと思い、気にかけていた子がいました。のちに友人の猫を見て、その子が「さくらねこ」だったと知りました。自分も年を重ね、もう猫を飼うことはできませんが、友人を通してできることを続けていきたいと思っています。「さくら耳」が私自身のさまざまな傷をそっと癒してくれたように、その存在が多くの方の心にも届けば幸いです。このような機会を与えてくださったコンテスト、そしてそれを支える皆さまのご尽力に深く感謝申し上げます。

審査員総評

審査員・山崎 好裕



3回目を迎えた「さくらねこ短歌コンテスト」。皆さまの作品の質が年々上がっているのは選者としてたいへん嬉しいことです。良い歌が多くなってきたと感じます。見ていますと短歌を作り慣れている方もそうでない方もいらっしやるようです。さくらねこの交歓で感じたことを、奇を衒わずさりげなく言葉にしてみてください。

山崎好裕 福岡大学教授。代々続く神官の家に生まれ、多くの保護猫に囲まれて育つ。幼時から古典・漢籍に慣れ親しみ、小中学生のころは日記代わりに毎日短歌を詠んでいた。東京大学学生俳句会部長を経て、現在俳誌『天為』同人、俳人協会会員。経済学者としての専門的立場から動物政策について環境省や各地方自治体にアドバイスをを行っている。新聞連載を中心に歴史小説家としても活躍中。

審査員・佐藤 修史



2千超の力作を拝読し、全国の愛猫家の心に勇気づけられた。とはいえ、コンテストも3回目。審査する目が良くも悪くも肥えてきた。「花びら」や「一代限り」という常套句には心が動かない。「さくらねこ」を「野良猫」と書き換えても通用する内容だと強くは推せない。いずれも作者の愛情が満ちているだけに選考は難しかった。

佐藤修史 1968年生まれ。93年に朝日新聞社に入社し、文化くらし報道部デスク、社会部デスク、週刊朝日編集長などを歴任。現在はフリーで、宮崎市在住。自宅には保護猫が3頭。探検、釣り、ロック、家庭菜園、撮影など多趣味。

審査員・佐竹 茉莉子



去年に引き続き、幅広い年齢層の方から、さくらねこへの想いを綴った歌がたくさん寄せられた。その町それぞれの情景が浮かんでくるような温もりをしっかりと感じる。見送った歌には哀しみが胸に響き、家猫に送り出した歌には口元が緩んだ。「可哀そう」「ごめんね」を超えた「一緒に生きていこう」の思いが、広がり、繋がっていきますように。

佐竹茉莉子 人物や犬猫たちのドキュメントを書き続けるフリーライター。WEB連載に、フェリシモ猫部「道ばた猫日記」、朝日新聞社sippo「猫のいる風景」、辰巳出版WEBコレカラ「保護犬たちの物語」。著書に「猫との約束」「猫は奇跡」など。

物品協賛企業様のご紹介

第3回さくらねこ短歌コンテストでは、4社の企業様にご協賛いただきました。本当にありがとうございました！

有限会社春木屋

山梨県富士吉田市にあるスペシャルティコーヒーのお店。「さくらねこTNR」の支援を目的として、2021年6月から現在までずっとご支援いただいています。コーヒー好き、猫好きなあの人へのプレゼントに最適!ご購入はQRコードから。



ついぶ工房

彫金教室や手作り体験を通して、一般の人が金属工芸に触れる機会を提供している「ついぶ工房」様です。手作りリングの新しいオプション「さくらねこ留め」をスタートされたことからご縁が始まり、ご支援をいただいています。オリジナルの指輪づくりを体験してみたい方はQRコードから。



信州吉野電機株式会社

長野県塩尻市にあるプラスチック成形などを手掛ける企業様です。「さくらねこTNR」にご賛同いただき、桜色の猫が5匹集まった可愛い「マグネット桜猫」の販売を通じてご支援をいただいています。ご家庭やオフィスで「マグネット桜猫」は大活躍!ご購入はQRコードから。



株式会社カインズ

生活必需品から専門性の高い商品まで、日々のくらしを豊かにする幅広い商品を取り扱うホームセンター「カインズ」を運営している企業様。2024年度から継続してご支援をいただいています。カインズ様オリジナルのペット用品はQRコードからご購入いただけます。





その思いが、 小さな命の「明日」になる。

不条理な殺処分で命を奪われる犬猫をゼロにするため、私たちは37年間歩み続けてきました。皆さまの支援を力に「さくらねこTNR」や多頭飼育崩壊の救済、里親探しを推進しています。命を守り、共生する未来を、あなたに合ったかたちでともに作っていきませんか。

ご寄付のお願い

どうぶつ基金ではさまざまなご寄付方法をご用意しています

3,000円で一頭のオスねこが…

5,000円で一頭のメスねこが…

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

郵便局 00230-8-72832
公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

銀行 三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)
普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金
(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

*** 公益財団法人どうぶつ基金 への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。**



どうぶつ基金



つながる募金



YAHOO!募金



その他の寄付方法

遺贈や相続財産による寄付

遺言による寄付(遺贈)や相続した財産からの寄付も受け付けています。わかりやすいパンフレットをご用意しておりますので、お気軽にご請求ください。

※遺贈寄付を行うには、遺言書の作成が必要です。

※遺贈による公益財団法人どうぶつ基金への寄付は、一定の条件を満たすことで相続税はかかりません。

※相続開始後10ヵ月以内にご寄付いただき、どうぶつ基金が発行する「領収書」を相続税申告書類に添付して申告していただくと、ご寄付いただいた財産には相続税がかかりません。

※現金以外の財産については、遺言執行者が現金化(換価処分)し、税金・諸費用を差し引いたうえで、現金にてご寄付いただくようお願いしております。



パンフレットのダウンロードはこちら。



寄付者の声

手仕事から広がる支援の輪。 お客様の選択を、命を守る力に変えて

東風美術工芸株式会社(ついで工房)様

私たちは手を動かすなかでその作る時間や想いも大切にしたいと考え、ものづくりに向き合ってきました。「さくらねこ留め」はその延長にあるひとつのかたちで、お客様の選択が支援につながる仕組みにも意義を感じています。日常に寄り添う指輪が誰かのためにつながること。ささやかですが、そんな広がりを大切にしながら、活動を通じて、地域猫と人が穏やかに共に暮らせる環境づくりの一助となれば幸いです。



彫金教室や手作り体験を通して、一般の人が金属工芸に触れる機会を提供している「ついで工房」は、京都の伝統的な金属工芸技術(かざり細工)を継承する東風美術工芸株式会社様が運営しています。2025年の「さくらねこの日」に合わせ、手作りリングの新しいオプションとして「さくらねこ留め」をスタートされたことからご縁が始まり、ご支援をいただいています。

世界に一つしかない「さくらねこ」リングを作りませんか。

ついで工房様のホームページはこちら



現場からの感謝の声

鳥取県 M.Hさん

皆さまのご寄付により、住んでいる地区のすべての野良猫たちの不妊手術をすることができました。どうぶつ基金にご寄付いただいている皆さまのおかげでTNR活動ができ、不妊手術を終えた野良猫を「さくらねこ」として住民みなで見守っていく話もご理解いただけました。住民の方々からも感謝の言葉をいただいております。本当にありがとうございました。

ご寄付の使いみち

TNRと多頭飼育崩壊の救済支援



出張手術



里親探しの支援



知ってもらふ活動



お問い合わせ 寄付や遺贈についてお気軽にお問い合わせください。



公益財団法人

どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7

寄付のお問い合わせは **0797-57-1215** (平日10:00~17:00)

contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



殺処分ゼロを目指して。

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、
犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動してきました。
基金では、殺処分ゼロを実現するために年間5万頭におよぶ猫の無料不妊手術をはじめ、
無料不妊手術専門の動物病院運営や助成金制度、
啓発イベントの開催など、さまざまな事業に取り組んでいます。



どうぶつ基金のあゆみ

1988年	富岡操が財団法人横浜動物福祉協会を創設	2019年	さくらねこTNR累計110,000頭突破 さくらねこ Japan Branding Awards2019 Winners 賞を受賞
1990年	神奈川県愛甲郡清川村に移転 シェルター運営開始		
2005年	猫の無料不妊手術事業開始	2020年	さくらねこTNR累計160,000頭突破 内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定
2006年	佐上邦久が代表に就任 財団法人どうぶつ基金に名称変更	2021年	全国3都市（大阪・福岡・宮崎）で TNR地域集中プロジェクトを実施 さくらねこTNR累計222,222頭突破
2010年	公益認定にともない名称を公益財団法人どうぶつ基金に変更 事務局を兵庫県芦屋市へ移転 いのちつないだワンニャン写真コンテスト開始 （環境省後援）	2022年	全国4都市（大阪・福岡・宮崎・熊本）で期間限定のどうぶ つ基金病院を展開、TNR地域集中プロジェクトを実施 さくらねこTNR累計280,000頭突破
2012年	沖縄県石垣島で初の出張無料不妊手術 「さくらねこ」の名称誕生	2023年	さくらねこTNR累計330,000頭突破 さくらねこ短歌コンテスト開始
2014年	行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための 助成金制度 開始	2024年	さくらねこTNR累計380,000頭突破 「ノラネコ白書」刊行
2016年	日本財団賞受賞		
2017年	社会貢献支援財団奨励賞受賞 タイ国にて国際活動（ソイドッグファンデーション アニマルホ スピタル）	2025年	壱岐市（長崎県）、西臼杵郡（宮崎県）で期間限定のどう ぶつ基金病院を開院、TNR地域集中プロジェクトを実施 さくらねこTNR累計440,000頭突破
2018年	あまみのさくらねこ病院開設（2019年6月閉院） 奄美大島のすべての猫を対象に無料不妊手術実施		

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
（１）経常収益	409,036,343	364,126,192	44,910,151
基本財産運用益	5,104,704	7,821,312	△ 2,716,608
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	5,104,704	7,821,312	△ 2,716,608
受取寄付金	345,341,362	323,677,881	21,663,481
受取寄付金振替額	51,000,000	27,000,000	24,000,000
グッズ販売収益	5,450,147	5,507,750	△ 57,603
雑収入	2,140,130	119,249	2,020,881
（２）経常費用	421,609,655	375,012,759	46,596,896
事業費	420,873,282	374,171,806	46,701,476
地代家賃	1,178,550	1,571,400	△ 392,850
賃借料	149,166	149,166	0
水道光熱費	57,540	66,006	△ 8,466
旅費交通費	2,125,879	455,752	1,670,127
通信費	2,562,375	1,882,312	680,063
荷造運賃	331,039	356,194	△ 25,155
広報費	44,089,988	19,191,616	24,898,372
会議費	127,223	0	127,223
消耗品費	386,601	4,453,391	△ 4,066,790
修繕費	2,206,556	2,446,631	△ 240,075
減価償却費	2,638,628	2,729,542	△ 90,914
保険料	288,303	96,262	192,041
租税公課	1,581	43,747	△ 42,166
支払手数料	13,956,088	20,877,870	△ 6,921,782
支払報酬料	13,696,813	12,144,613	1,552,200
事務手数料	8,028,444	7,462,417	566,027
不妊手術援助費	322,514,200	291,400,794	31,113,406
支払助成金	4,998,000	7,671,584	△ 2,673,584
グッズ製作費	1,387,658	1,165,986	221,672
雑費	148,650	6,523	142,127
管理費	736,373	840,953	△ 104,580
地代家賃	36,450	48,600	△ 12,150
賃借料	4,614	4,614	0
水道光熱費	1,780	2,042	△ 262
旅費交通費	65,750	14,096	51,654
通信費	79,249	58,217	21,032
荷造運賃	10,240	11,017	△ 777
消耗品費	11,958	6,834	5,124
修繕費	68,244	75,669	△ 7,425
減価償却費	5,504	8,316	△ 2,812
保険料	8,917	2,978	5,939
租税公課	50	1,353	△ 1,303
支払手数料	15,407	231,408	△ 216,001
支払報酬料	423,612	375,607	48,005
雑費	4,598	202	4,396
評価損益調整前当期増減額	△ 12,573,312	△ 10,886,567	△ 1,686,745
基本財産評価損益等	1,766,353	△ 3,750,754	5,517,107
評価損益等計	1,766,353	△ 3,750,754	5,517,107
当期経常増減額	△ 10,806,959	△ 14,637,321	3,830,362
2 経常外増減の部			
（１）経常外収益	0	0	0
（２）経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 10,806,959	△ 14,637,321	3,830,362
法人税、住民税及び事業税	111,914	93,539	18,375
当期一般正味財産増減額	△ 10,918,873	△ 14,730,860	3,811,987
一般正味財産期首残高	125,779,730	140,510,590	△ 14,730,860
一般正味財産期末残高	114,860,857	125,779,730	△ 10,918,873
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 51,000,000	△ 27,000,000	△ 24,000,000
当期指定正味財産増減額	△ 51,000,000	△ 27,000,000	△ 24,000,000
指定正味財産期首残高	78,936,767	105,936,767	△ 27,000,000
指定正味財産期末残高	27,936,767	78,936,767	△ 51,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高			
	142,797,624	204,716,497	△ 61,918,873

貸借対照表

令和8年3月31日現在

公益財団法人 どうぶつ基金

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	64,800,553	55,639,872	9,160,681
売掛金	789,961	744,888	45,073
商品	650,195	1,266,701	△ 616,506
前払費用	180,994	3,584,224	△ 3,403,230
未収入金	532,953	446,113	86,840
流動資産合計	66,954,656	61,681,798	5,272,858
2 固定資産			
基本財産	71,906,648	72,663,063	△ 756,415
投資有価証券	71,906,648	72,663,063	△ 756,415
特定資産	37,936,767	98,936,767	△ 61,000,000
TNR 事業積立資産	27,936,767	78,936,767	△ 51,000,000
TNR 事業拡大積立資産	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
その他の固定資産	2,477,596	5,481,728	△ 3,004,132
工具器具備品	16,896	200,328	△ 183,432
差入保証金	0	360,000	△ 360,000
ソフトウェア	2,460,700	4,921,400	△ 2,460,700
固定資産合計	112,321,011	177,081,558	△ 64,760,547
資産合計	179,275,667	238,763,356	△ 59,487,689
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	36,196,050	33,831,940	2,364,110
未払法人税等	83,100	82,000	1,100
預り金	198,893	132,919	65,974
流動負債合計	36,478,043	34,046,859	2,431,184
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	36,478,043	34,046,859	2,431,184
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	27,936,767	78,936,767	△ 51,000,000
（うち特定資産への充当額）	(27,936,767)	(78,936,767)	(△51,000,000)
指定正味財産合計	27,936,767	78,936,767	△ 51,000,000
2 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(71,906,648)	(72,663,063)	(△756,415)
（うち特定資産への充当額）	(10,000,000)	(20,000,000)	(△10,000,000)
正味財産合計	142,797,624	204,716,497	△ 61,918,873
負債及び正味財産合計	179,275,667	238,763,356	△ 59,487,689



どうぶつ基金は、
人とどうぶつが幸せに共生できる
社会づくりに貢献します。